

令和3年度事業報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた普及広報、啓発教育事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりを実現するために必要な考え方、施策、事業等を広く普及し啓発することを目的に、以下の事業を行いました。

(1) 政策提言事業

法令等の制定・改正、各種行政計画の立案や見直しに向けて、次の意見書・要望書を提出しました。また、与野党の国会議員に面会し、持続可能なくにづくり・地域づくりの必要性、とるべき施策について提言しました。

[意見書・要望書の提出]

- ・社会資本整備重点計画(素案)に対する意見(4月26日、国土交通省総合政策局社会資本整備政策課に提出)
- ・「国土強靱化年次計画2021(素案の検討資料)」に関する意見(5月10日、内閣官房国土強靱化推進室に提出)
- ・「東京都生物多様性地域戦略改定ゼロドラフト」に対する意見(10月6日、東京都環境局自然環境部計画課に提出)
- ・令和4年度予算・税制等に関する要望(11月18日から26日にかけて、自由民主党、立憲民主党等に提出)

[意見発表]

- ・中央環境審議会自然環境部会第2回生物多様性国家戦略小委員会による各種団体ヒアリング(12月17日)

(2) 国際フォーラム事業

国際フォーラムの次回開催に向けて、国内外の持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報収集や検討を行いました。

(3) 会報及び書籍の編集・発行事業

会報「エコシステム」を隔月で編集・発行し、持続可能なくにづくり・地域づくりに関する考え方や国内外の事例を紹介しました。会報は、会員以外にも、国会議員、地方議会議員、国や地方自治体の職員等に配布しました。

(4) 地方自治体への情報提供事業

全国の知事、市町村長や地方議会議員等を対象に、自然と共存した持続可能なくにづくり・地域づくりに関する情報提供を行いました。

(5) ウェブサイト、各種報道機関等への広報事業

協会が運営するウェブサイトやフェイスブックなどのSNSのほか、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の媒体を通じ、協会の活動や考え方の普及広報を行いました。また、当協会の関わる各種の事業が、さまざまな媒体で取り上げられました。

日本テレビ「有吉ゼミ」など、テレビ・ラジオの番組制作にあたって協力を行いました。

ウェブサイトをリニューアルし、発信力の強化と支援者増を図りました。

三井住友トラスト・ホールディングス「2021/2022 サステナビリティレポート(自然資本)」の監修を行いました。

(6) 写真等の貸し出し事業

協会所有の写真や図版等の貸し出しを通じ、協会の名称や考え方の普及広報を行いました。

(7) 人材開発事業

環境に関する正しい知識と技術を持つ人材の育成のため、ビオトープ管理士及びこども環境管理士の資格認証、並びにビオトープ管理士に関するオンラインセミナーを実施しました。

「改訂版ビオトープ管理士資格試験公式テキスト」第8刷、第9刷の発刊にあたり、監修を行いました。

ビオトープ管理士で構成される日本ビオトープ管理士会の運営支援と、こども環境管理士の活動支援を行いました。

(8) 学校・園庭ビオトープ普及促進事業

学校ビオトープ・園庭ビオトープの普及と質の向上を目的とした「全国学校・園庭ビオトープコンクール2021」を実施しました。1月23日には発表大会を行い、秋篠宮皇嗣殿下の御臨席と御言葉を賜りました。

(公財)三菱UFJ環境財団による学校ビオトープづくり支援助成の運営に協力し、学校・園庭ビオトープの取り組みへの指導助言を行いました。

オンラインの寄付サイトにて、学校・園庭ビオトープを普及するためのキャンペーンを実施し、多くの支援をいただきました。

その他、学校・園庭ビオトープのつくり方やその活用に関する問い合わせの対応、園庭整備にあたっての指導・助言、保育者の研修などを行いました。

(9) 環境講座事業

4月、5月、7月、9月、11月に、京王百貨店新宿店の「くらしサブリ」において、一般市民を対象にした環境や生きものに関する講座を企画し、講師を務めました。

(10) 海外の視察ツアー事業

海外の視察ツアーの実施に向け検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大の防止のため見合わせることにしました。

(11) 委員・講師派遣事業

以下に挙げた国や地方自治体、団体等による各種委員会、検討会の委員等に、役員や職員が就任しました。ほか、地方自治体や学校、企業・団体、NGO等からの依頼に応じ、役員や職員を講師として派遣しました。

- ・ 自然再生専門家会議委員(環境省、農林水産省、国土交通省)
- ・ OECM国内制度等勉強会委員(環境省)
- ・ 釧路湿原自然再生協議会委員(釧路湿原自然再生協議会)
- ・ 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会委員(国土交通省)
- ・ 神奈川県河川委員会委員(神奈川県)
- ・ 福井県コウノトリ定着推進会議委員(福井県)
- ・ 所沢市みどりの審議会委員(埼玉県所沢市)
- ・ 横須賀市都市公園指定管理者選考委員会委員(神奈川県横須賀市)
- ・ 佐渡市総合戦略アドバイザー(新潟県佐渡市)
- ・ 出水市ラムサール条約登録推進協議会特別委員(鹿児島県出水市)
- ・ 長沼町タンチョウとの共生検討会議アドバイザー(北海道長沼町)
- ・ 黒松内生物多様性保全奨励事業運営委員会(北海道黒松内町)
- ・ コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム顧問
- ・ NPO法人地球船クラブ顧問
- ・ いずもの空へ2025朱鷺復活プロジェクト顧問(NPO法人いずも朱鷺21)
- ・ 舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会顧問
- ・ 学校関係者評価委員会委員((学)滋慶学園系列3校)
- ・ 教育課程編成委員会委員((学)滋慶学園系列3校) 等

(12) 市民活動支援

当協会と目的を同じくする国内外の個人及び市民団体と情報交換を行うとともに、活動に関する相談を受け、提言及び支援を行いました。

(一社)関東地域づくり協会の助成金を活用し、関東地方における水と緑のネットワーク拠点に係る市民団体や企業等の取り組みに対する支援を行いました。

令和3年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰において、当協会より推薦した小川早枝子氏(元理事)が表彰されました。

(13) 学生研修等受け入れ事業

森の墓苑にて、企業・団体の計2件の研修と、教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修(環境省)の視察を受け入れ、自然の重要性や公益活動の必要性について指導しました。

事務所での研修等の受け入れは、新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大の防止のため中止しました。

2. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた調査研究事業

行政や企業からの受託業務や助成金を活用し、国内外の自然生態系の保全・再生・創出に関する各種データの収集、分析を行いました。また、これらの結果は、普及広報、啓発教育事業の基礎資料、具体的事例として活用しました。

なお、海外からの情報は、国際部を中心に、アメリカ事務所及びヨーロッパ事務所等を通じて収集しました。

(1) 国内外の関係法・条例等に関する調査研究事業

自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに関する条約、法律、条例、行政計画、具体的な施策について情報を収集・分析し、調査・研究を行いました。

(2) 自然生態系調査研究事業

自然生態系の構成要素である野生生物を中心に、その生態や生物多様性に関する調査・研究を行い保全活動に活かしました。

(3) エコロジカル・ネットワークに関する調査研究事業

コウノトリ、トキ、ツル類等の大型水鳥類を指標とした地域づくりや、全国各地の河川・流域等におけるエコロジカル・ネットワーク形成に必要な情報を収集・分析し、今後の施策等の研究を行いました。

北海道石狩川流域におけるエコロジカル・ネットワーク計画推進のため、長沼町に職員1名の長期派遣を行いました。

(4) ハビタット評価調査研究事業

計5か所の不動産・企業敷地において、生物多様性の保全・再生効果の定量評価を実施し、ハビタット評価認証制度(JHEP認証制度)に基づく認証審査を行いました。また、計13か所の

認証更新を行いました。

(5) 自然再生に関する調査研究事業

国内外の自然再生の方法、評価等に関する調査研究を行いました。

千葉県長南町に所有するトラスト地において、森と草はらを取り戻しエコロジカル・ネットワークに寄与する「森と草はらの再生プロジェクト」の取り組みを行いました。

(6) 自然災害と地域づくりに関する調査研究事業

令和3年3月に発生した新潟県糸魚川市来海沢地区の地すべりの被災状況について4月に、気候変動の影響を受ける富山県・立山のライチョウについて5月に調査・取材し、自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた参考にしました。

所有者不明土地の現状や、社会情勢の変化を踏まえた新たな土地制度のあり方について、調査研究を行いました。

(7) 環境教育に関する調査研究事業

国土交通省の荒川知水資料館(東京都北区)の運営支援を通じて、流域の学校をはじめとした多様な主体に対する情報発信や学習支援等を行いました。

(8) 環境と経済に関する調査研究事業

野生の生きものを守り活かす観光等の持続可能な地域振興をはじめとした、自然環境と経済との関係について、調査・研究を行いました。

3. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けたナショナル・トラスト事業

(1) ナショナル・トラスト地保全事業

活動の趣旨に賛同する個人や企業・団体からの寄付金を活用し、自然生態系を守るための土地の購入や寄付による所有に向け、調査検討を行いました。

(2) ナショナル・トラスト活動支援

わが国におけるナショナル・トラスト活動を発展させるうえで必要な法律の制定や税制改正に向けた提言を行い、全国のナショナル・トラスト活動の発展に向けた協力を行いました。

特に(公社)日本ナショナル・トラスト協会の運営支援を行いました。

4. 自然と共存した美しく持続可能なくにづくり・地域づくりに向けた自然保全・再生墓地事業

(1) 自然の保全と再生を目的とした墓地の整備運営事業

森の墓苑(千葉県長南町)の運営と管理・整備を行いました。

京王百貨店新宿店の「くらしサプリ」、三井住友信託銀行(株)のロビー展や冊子にて情報発信を行うなど、森の墓苑の広報に取り組みました。

「植樹草会2021」、「長南ホテル観賞ツアー2021」、「和スイーツとともに楽しむ、秋の虫たちの音色『虫聴き』体験！」を開催し、体験を通じた普及広報に取り組みました。

契約促進のため、「お友達ご紹介キャンペーン」のほか、映画の劇場鑑賞券をプレゼントするキャンペーンを3回実施しました。

森の墓苑が「ちばSDGsパートナー」に登録されました。また、合葬墓「こなら」の永代使用権が長南町のふるさと納税の返礼品になりました。

(2) 自然の保全と再生を目的とした墓地に関する情報収集

墳墓・墓地と自然に関する情報を収集し、森の墓苑の運営や整備に活かしました。